

【歌唱】

校種	学年等	ア「思考力、判断力、表現力等」
小学校	第1・2学年	ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、 <b>曲想を感じ取って</b> 表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつこと。
	第3・4学年	ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、 <b>曲の特徴を捉えた</b> 表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや <b>意図</b> をもつこと。
	第5・6学年	ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、 <b>曲の特徴にふさわしい</b> 表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや <b>意図</b> をもつこと。

イ「知識」		ウ「技能」		
曲想／音楽の構造・歌詞		聴唱、模唱、視唱	発声、身体 の使い方	他者との調和
イ 曲想と音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて <b>気付くこと</b> 。		ウ 思いに合った表現をするために必要な次の(ア)から(イ)までの技能を身に付けること。 (ア) 範唱を聴いて歌ったり、 <b>階名で模唱したり暗唱したり</b> する技能	(イ) <b>自分の歌声及び発音</b> に気を付けて歌う技能	(ウ) <b>互いの歌声や伴奏</b> を聴いて、声を合わせて歌う技能
イ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて <b>気付くこと</b> 。		ウ 思いや意図に合った表現をするために必要な次の(ア)から(イ)までの技能を身に付けること。 (ア) 範唱を聴いたり、 <b>ハ長調</b> の楽譜を見たりして歌う技能	(イ) 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、 <b>自然で無理のない</b> 歌い方で歌う技能	(ウ) <b>互いの歌声や副次的な旋律</b> 、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能
イ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて <b>理解すること</b> 。		ウ 思いや意図に合った表現をするために必要な次の(ア)から(イ)までの技能を身に付けること。 (ア) 範唱を聴いたり、ハ長調及び <b>イ短調</b> の楽譜を見たりして歌う技能	(イ) 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、 <b>自然で無理のない、響きのある</b> 歌い方で歌う技能	(ウ) <b>各声部の歌声や全体の響き</b> 、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能

【器楽】

校種	学年等	ア「思考力、判断力、表現力等」
小学校	第1・2学年	ア 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、 <b>曲想を感じ取って</b> 表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつこと。
	第3・4学年	ア 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、 <b>曲の特徴を捉えた</b> 表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや <b>意図</b> をもつこと。
	第5・6学年	ア 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、 <b>曲の特徴にふさわしい</b> 表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや <b>意図</b> をもつこと。

イ「知識」		ウ「技能」		
曲想／音楽の構造		聴奏、模奏、視奏	奏法、身体 の使い方	他者との調和
イ 次の(ア)及び(イ)について <b>気付くこと</b> 。 (ア) 曲想と音楽の構造との関わり		(イ) 楽器の音色と演奏の仕方との関わり	ウ 思いに合った表現をするために必要な次の(ア)から(イ)までの技能を身に付けること。 (ア) 範奏を聴いたり、 <b>リズム譜など</b> を見たりして演奏する技能	(イ) 互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能
イ 次の(ア)及び(イ)について <b>気付くこと</b> 。 (ア) 曲想と音楽の構造との関わり		(イ) 楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり	ウ 思いや意図に合った表現をするために必要な次の(ア)から(イ)までの技能を身に付けること。 (ア) 範奏を聴いたり、 <b>ハ長調</b> の楽譜を見たりして演奏する技能	(イ) 音色や <b>響き</b> に気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能
イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。 (ア) 曲想と音楽の構造との関わり		(イ) <b>多様な</b> 楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり	ウ 思いや意図に合った表現をするために必要な次の(ア)から(イ)までの技能を身に付けること。 (ア) 範奏を聴いたり、ハ長調及び <b>イ短調</b> の楽譜を見たりして演奏する技能	(イ) 音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能

【音楽づくり】

校種	学年等	ア「思考力、判断力、表現力等」	イ「知識」		ウ「技能」	
		発想を得ること	思いや意図／創意工夫	音素材・組合せ	水平・垂直	課題・条件
小学校	第1・2学年	ア 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ) <b>(ア) 音遊びを通して</b> 、音楽づくりの発想を得ること。	(イ) どのように音を音楽にしていくなについて思いをもつこと。	イ 次の(ア)及び(イ)について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くこと。 (ア) <b>声や身の回りの様々な音</b> の特徴	(イ) 音やフレーズのつなげ方の特徴	ウ 発想を生かした表現や、思いに合った表現をするために必要な次の(ア)及び(イ) <b>(ア) 設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして</b> 表現する技能
	第3・4学年	ア 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ) <b>(ア) 即興的に表現することを通して</b> 、音楽づくりの発想を得ること。	(イ) 音を音楽へと構成することを通して、どのように <b>まとまり</b> を意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつこと。	イ 次の(ア)及び(イ)について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くこと。 (ア) いろいろな音の響きや <b>それらの組合せ</b> の特徴	(イ) 音やフレーズのつなげ方や <b>重ね方</b> の特徴	ウ 発想を生かした表現や、思いや意図に合った表現をするために必要な次の(ア)及び(イ) <b>(ア) 設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだり組み合わせたりして</b> 表現する技能
	第5・6学年	ア 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ) <b>(ア) 即興的に表現することを通して</b> 、音楽づくりの <b>様々な発想</b> を得ること。	(イ) 音を音楽へと構成することを通して、どのように <b>全体のまとまり</b> を意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつこと。	イ 次の(ア)及び(イ)について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解すること。 (ア) いろいろな音の響きや <b>それらの組合せ</b> の特徴	(イ) 音やフレーズのつなげ方や <b>重ね方</b> の特徴	ウ 発想を生かした表現や、思いや意図に合った表現をするために必要な次の(ア)及び(イ) <b>(ア) 設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだり組み合わせたりして</b> 表現する技能

【鑑賞】

校種	学年等	ア「思考力、判断力、表現力等」	イ「知識」	
		評価とその根拠	曲想／音楽の構造	背景、他の芸術との関わり
小学校	第1・2学年	ア 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の <b>楽しさ</b> を見だし、曲全体を味わって聴くこと。	イ 曲想と音楽の構造との関わりについて <b>気付くこと</b> 。	
	第3・4学年	ア 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の <b>よさ</b> などを見だし、曲全体を味わって聴くこと。	イ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて <b>気付くこと</b> 。	
	第5・6学年	ア 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の <b>よさ</b> などを見だし、曲全体を味わって聴くこと。	イ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて <b>理解すること</b> 。	

<共通事項>

ア「思考力、判断力、表現力等」	イ「知識」
「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えること。	イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて理解すること。